

史談の広場

(一) 短歌 古城探訪

佐保 為信

(会員・佐伯市米島町)

中津城天守の上を鳥の群

輪をえがき飛ぶ「山国川」の彼方に

川霧は三隈川面に広がりて

彼方「日隈城址」は墨絵のごとく

昭和六十二年十一月臨時天守閣造営撤去にのぞみて

岡城址昔を今に天守閣名残りの時に来ておりぬ

岡城址歴史を秘めて幾星霜四方の展望雄にて豪壯

湾内に突出し城址杵築城その昔に見る関ヶ原余波

聳え立つ日出城址にいて想うこと

この地に生きしか豊臣三世

府内城有為転変の時代を経て

往時をしのぶ古城の白壁

木の葉舞い海を背にして山登る高崎山城址古跡寂寞

「国崩」撃ちし城址にたたづみて

城より望む白杵湾岸

高政が築きし古城鶴谷城独歩も賞てし城山の四季

